

## てがたんレポート Vol.2 No.1 (2005年1月:通巻10号)

- ★観察コース: 博物館玄関前スタート→鳥博前田んぼ→水の館前田んぼ→  
ミニ手賀沼→手賀大橋下→噴水前広場→手賀沼遊歩道→釣り堀前(解散)  
★観察日時/天気: 2005年1月8日(土) 10:00~12:00/晴れ  
★参加人数: 18人  
★観察案内と記録:  
・友の会観察ボランティア: 木村さん、小泉さん、染谷さん、中野さん  
・鳥博: 斉藤

- 今回のテーマ  
・カモ類の求愛行動  
・カモ類の種類(ミウラ折り水鳥図鑑参照)  
・植物の冬越し-ロゼット-

### 観察記録-みんなで観察した生き物リスト-

#### 【観察した鳥】

カイツブリ、カワウ、ゴイサギ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、  
オナガガモ、ミコアイサ、オオバン、タシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、  
カワセミ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、シロハラ(上  
空通過と地鳴き)、ツグミ、メジロ、アオジ、オオジュリン、スズメ、ムクドリ、  
ハシボソガラス、ハシブトガラス  
・飼い鳥が野生化したもの  
コバクチョウ、カナダガン、ドバト(原種:カワラバト)  
・家禽  
シナガチョウ(原種:サカツラガン)、バリケン(原種:ノバリケン)

#### 【その他の動物】

モグラ塚、ハラビロカマキリ卵塊(サクラの樹幹)、カイガラムシの仲間(枯れたヨシの茎)

#### 【観察した植物】

・ロゼット  
タンポポ、ギンギシ、ノゲシ、オニノゲシ、ハルジオン、ヒメジオン、オニタビラコ、  
ウラジロチチコグサ、オランダミミナグサ、アレチマツヨイグサ  
・花  
ノボロギク、オオイヌノフグリ、タガラシ、タネツケバナ、セイヨウタンポポ  
(園芸種)  
サザンカ、ツバキ、ロウバイ  
\*その他ユキヤナギ、サツキに季節はずれの花が咲いていた

#### ・木の実、種

ピラカンサ(赤い実)、アオキ(赤い実)、ナンテン(赤い実)、シャリンバイ(黒い実)、  
トウネズミモチ(黒い実)、ネズミモチ(黒い実)

\* リストの生き物の名前は順不同です



# 1月の観察アルバム

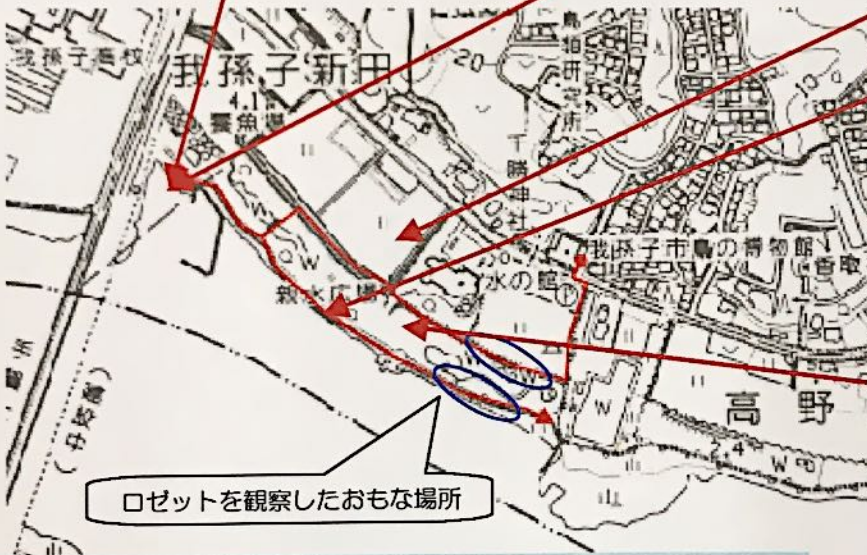


メスに向かって求愛のディスプレイするオス  
(のどを引き締め、くちばしを体の方に引き、頭を突き上げる  
Burping (げっぷ) のディスプレイ)

誰が放したのか、シナガチョウ  
(原種：サカツラガン)



タシギが2羽見え隠れ



ロゼットを観察したおもな場所



ハラビロカマキリの卵塊  
(カマキリは卵で冬を越す)



植栽されたハンノキの雄花  
・2月頃から花粉を飛ばすらしい  
・雌花と葉の芽も見える

\*ロゼット rosette とは、ばらの花飾りのことで、根出葉が放射状につまって出る形を指す。風を避け、日光を一杯に受けることができるので、多くの植物がロゼットで冬を越す。



セイタカアワダチソウ

ウラボシチコグサ

オオバコ

オニノゲシ

オランダミミナグサ



ギシギシ

キュウリグサ

タンポポ

ハルジオン

ヤブタバコ